

平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年2月5日

上場会社名 星光PMC株式会社

上場取引所 東

コード番号 4963 URL <http://www.seikopmc.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 乗越 厚生

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 伊佐木 融

TEL 03-6202-7331

四半期報告書提出予定日 平成22年2月12日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	16,676	△12.9	1,372	108.4	1,412	105.9	959	160.7
21年3月期第3四半期	19,145	—	658	—	685	—	368	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	31.66	—
21年3月期第3四半期	12.04	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭
22年3月期第3四半期	25,577	—	18,479	—	72.2	609.43
21年3月期	24,247	—	17,749	—	73.2	585.35

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 18,479百万円 21年3月期 17,749百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
22年3月期	—	5.00	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,840	△9.2	1,600	124.0	1,650	118.9	1,070	202.6	35.29

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第3四半期 30,743,604株 21年3月期 30,743,604株

② 期末自己株式数 22年3月期第3四半期 421,048株 21年3月期 420,928株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第3四半期 30,322,595株 21年3月期第3四半期 30,572,169株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記予想に関する事項は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出や生産の持ち直し等一部に景気底打ちの兆しがあるものの、内需主導による自律的回復には至らず、個人消費や設備投資の低迷、雇用情勢の悪化等、引き続き厳しい状況が続きました。

当社グループの主要販売先である製紙業界、印刷インキ業界及び事務機器業界におきましては、世界的な景気低迷が続く中、売上面では前年同期を下回りましたが、一部にコスト削減等による利益面での改善がみられました。

このような環境のもと、当社グループは、高品質化・生産性の向上や環境保護・省資源等、需要業界の経営戦略に対応した差別化商品を市場に投入いたしました。販売先業界の需要減少の影響を受け、売上高は16,676百万円（前年同期比12.9%減）となりました。

利益面では、生産性向上・合理化を含めグループを挙げてのコストダウン等により営業利益は1,372百万円（前年同期比108.4%増）、経常利益は1,412百万円（同105.9%増）となりました。四半期純利益は959百万円（前年同期比160.7%増）となりました。

（事業のセグメント別の業績）

・製紙用薬品事業

製紙業界におきましては、当第3四半期連結累計期間の紙・板紙の国内生産は2,024万トンと対前年同期比11%の減少となりました。国内市場の低迷が続く中、当社グループは、差別化商品による売上増加に努めましたが、需要減少の影響を受け、当事業の売上高は、12,291百万円（前年同期比11.7%減）となりました。

利益面では、生産性向上・合理化を含めグループを挙げてのコストダウン等により、営業利益は1,283百万円（前年同期比106.4%増）となりました。

・印刷インキ用・記録材料用樹脂事業

印刷インキ業界におきましては、当第3四半期連結累計期間の印刷インキの国内生産は30万トンと対前年同期比8%の減少となりました。当社グループにおいては、水性インキ用樹脂の売上高は微減に止まりましたが、オフセットインキ用樹脂の売上高が大幅に減少しました。また、事務機器業界における世界的な需要減少の影響を受け、当社グループの記録材料用樹脂の売上高が大幅に減少しました。その結果、当事業の売上高は、4,384百万円（前年同期比16.1%減）となりました。

利益面では、生産性向上・合理化を含めグループを挙げてのコストダウン等により、営業利益は88百万円（前年同期比143.2%増）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

（資産、負債及び純資産の状況）

当第3四半期連結会計期間末における当社グループの財政状態は以下の通りとなりました。

（流動資産）

受取手形及び売掛金の増加等により流動資産は13,850百万円（前連結会計年度末比1,834百万円増）となりました。

（固定資産）

減価償却の進捗による有形固定資産の減少等により固定資産は11,726百万円（前連結会計年度末比504百万円減）となりました。

（流動負債）

支払手形及び買掛金の増加等により流動負債は6,486百万円（前連結会計年度末比637百万円増）となりました。

（固定負債）

退職給付引当金の減少等により固定負債は611百万円（前連結会計年度末比37百万円減）となりました。

（純資産）

四半期純利益の計上、剰余金の配当、株価上昇に伴うその他有価証券評価差額金の増加等により純資産は18,479百万円（前連結会計年度末比729百万円増）となりました。その結果、当第3四半期連結会計期間末における自己資本比率は72.2%となりました。また、有利子負債残高1,100百万円を自己資本で除した倍率（D/Eレシオ）は0.06倍となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は643百万円となり、前第3四半期連結会計期間末と比べ16百万円増加いたしました。当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの主な増減要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは1,403百万円の資金の獲得となり、前年同期と比べ獲得額が1,292百万円増加いたしました。これは主として、税金等調整前四半期純利益が822百万円増加したこと、売上債権の増減額が834百万円増加したこと及び仕入債務の増減額が46百万円の減少から978百万円の増加に転じたことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは697百万円の資金の支出となり、前年同期と比べ支出額が28百万円減少いたしました。これは主として、有形固定資産の取得による支出が43百万円減少したことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは前年同期763百万円の資金の獲得から602百万円の資金の支出に転じました。これは主として、短期借入金の純増減額が1,230百万円の増加から300百万円の減少に転じたことによるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

第3四半期連結累計期間の業績に加え、第4四半期連結会計期間における販売対象業界の需要見込みを基に、石化原料の値上がり及びロジック価格急騰によるコストアップ要因を勘案して、通期の連結業績予想を、1ページ「3. 平成22年3月期の連結業績予想」のとおり修正しております。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①一般債権の貸倒見積高の算定方法

貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末において算定した貸倒実績率等を使用して算定しております。

②棚卸資産の評価方法

四半期連結会計期間末における棚卸高の算出に関し、実地棚卸を省略し第2四半期連結会計期間末に係る実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定しております。

③固定資産の減価償却の方法

定率法を採用している固定資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

④繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	643,695	544,379
受取手形及び売掛金	8,908,729	7,138,881
商品及び製品	1,716,734	1,983,622
仕掛品	228,169	312,270
原材料及び貯蔵品	834,419	779,516
その他	1,522,878	1,260,573
貸倒引当金	△3,829	△3,109
流動資産合計	13,850,797	12,016,134
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,345,054	3,412,511
機械装置及び運搬具（純額）	2,781,951	2,664,385
土地	3,994,714	3,994,714
その他（純額）	341,093	954,933
有形固定資産合計	10,462,813	11,026,544
無形固定資産		
のれん	15,000	60,000
その他	106,578	53,197
無形固定資産合計	121,578	113,197
投資その他の資産		
その他	1,297,555	1,246,102
貸倒引当金	△155,468	△154,703
投資その他の資産合計	1,142,087	1,091,399
固定資産合計	11,726,479	12,231,141
資産合計	25,577,276	24,247,276

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,789,142	2,817,882
短期借入金	1,100,000	1,400,000
未払法人税等	377,834	57,889
引当金	212,796	104,231
その他	1,007,066	1,468,983
流動負債合計	6,486,838	5,848,987
固定負債		
退職給付引当金	465,744	505,692
役員退職慰労引当金	143,139	143,139
その他	2,211	—
固定負債合計	611,095	648,832
負債合計	7,097,934	6,497,819
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,000,000	2,000,000
資本剰余金	1,566,178	1,566,178
利益剰余金	15,016,863	14,360,218
自己株式	△104,304	△104,277
株主資本合計	18,478,738	17,822,120
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	104,559	17,694
繰延ヘッジ損益	△125	—
為替換算調整勘定	△103,831	△90,358
評価・換算差額等合計	603	△72,664
純資産合計	18,479,341	17,749,456
負債純資産合計	25,577,276	24,247,276

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
売上高	19,145,787	16,676,140
売上原価	15,496,812	12,519,062
売上総利益	3,648,975	4,157,078
販売費及び一般管理費	2,990,388	2,784,573
営業利益	658,587	1,372,504
営業外収益		
受取利息	3,599	9,017
受取配当金	17,492	15,599
仕入割引	17,008	10,963
その他	25,088	28,871
営業外収益合計	63,189	64,451
営業外費用		
支払利息	7,889	7,491
売上割引	9,289	8,703
為替差損	12,904	4,759
その他	5,860	3,539
営業外費用合計	35,945	24,493
経常利益	685,831	1,412,462
特別利益		
固定資産売却益	—	494
補助金収入	—	7,242
特別利益合計	—	7,737
特別損失		
固定資産売却損	499	38
固定資産除却損	30,436	6,046
貸倒引当金繰入額	—	2,465
委託生産終了負担金	52,000	—
瑕疵担保責任履行による損害賠償金	5,333	—
その他	8,800	—
特別損失合計	97,069	8,550
税金等調整前四半期純利益	588,762	1,411,649
法人税、住民税及び事業税	229,294	454,715
法人税等調整額	△8,652	△2,936
法人税等合計	220,642	451,778
四半期純利益	368,120	959,871

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	588,762	1,411,649
減価償却費	940,285	868,651
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△124,853	△39,947
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	3,743	—
その他の引当金の増減額(△は減少)	124,300	112,022
未払賞与の増減額(△は減少)	△277,854	△239,373
未払役員賞与の増減額(△は減少)	△57,500	△48,500
受取利息及び受取配当金	△21,091	△24,616
支払利息	7,889	7,491
固定資産除却損	30,436	6,046
固定資産売却損益(△は益)	499	△456
会員権評価損	6,200	—
売上債権の増減額(△は増加)	△951,891	△1,786,175
たな卸資産の増減額(△は増加)	△120,189	296,019
仕入債務の増減額(△は減少)	△46,189	978,293
未収入金の増減額(△は増加)	102,867	△114,642
その他	132,255	105,849
小計	337,669	1,532,312
利息及び配当金の受取額	21,091	23,591
利息の支払額	△7,587	△7,356
法人税等の支払額	△240,851	△145,518
営業活動によるキャッシュ・フロー	110,322	1,403,028
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△675,771	△632,151
投資有価証券の取得による支出	△41,263	△2,466
無形固定資産の取得による支出	△24,111	△64,596
その他	15,124	1,923
投資活動によるキャッシュ・フロー	△726,022	△697,290
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	1,230,000	△300,000
長期借入金の返済による支出	△77,000	—
自己株式の取得による支出	△84,322	—
配当金の支払額	△304,777	△301,957
その他	—	△537
財務活動によるキャッシュ・フロー	763,900	△602,494
現金及び現金同等物に係る換算差額	△13,242	△3,927
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	134,957	99,316
現金及び現金同等物の期首残高	492,473	544,379
現金及び現金同等物の四半期末残高	627,430	643,695

- (4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第3四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年12月31日）

	製紙用薬品事業 (千円)	印刷インキ用・記録材料用樹脂事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高及び営業損益					
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	13,918,628	5,227,159	19,145,787	—	19,145,787
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	383	178,711	179,094	△179,094	—
計	13,919,012	5,405,870	19,324,882	△179,094	19,145,787
営業利益	622,168	36,418	658,587	—	658,587

当第3四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年12月31日）

	製紙用薬品事業 (千円)	印刷インキ用・記録材料用樹脂事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高及び営業損益					
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	12,291,157	4,384,983	16,676,140	—	16,676,140
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	20,265	130,993	151,258	△151,258	—
計	12,311,422	4,515,976	16,827,399	△151,258	16,676,140
営業利益	1,283,927	88,576	1,372,504	—	1,372,504

[所在地別セグメント情報]

前第3四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年12月31日）

本国の売上高は、全セグメントの売上高の合計に占める割合が90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

当第3四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年12月31日）

本国の売上高は、全セグメントの売上高の合計に占める割合が90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

[海外売上高]

前第3四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年12月31日）

海外売上高が連結売上高の10%未満であるため、記載を省略しております。

当第3四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年12月31日）

海外売上高が連結売上高の10%未満であるため、記載を省略しております。

- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。